

WE LOVE KWANSEI

世界支部長会

全世界の支部長が

この日のために

関西学院同窓会は、

学院創立の9年後の1898(明治31)年に

院長、現教職員、在学生、卒業生で組織された

「同窓懇親会」が始まりとされています

以来122年の歴史と伝統を重ねながら、

24万人の同窓生が世代を超えてつながっています。

学院創立100周年を機に15の支部から発足した

支部長会も今では国内90支部、

海外28支部の全世界へと広がる

心強いネットワークへと成長しています。





世界支部長会
Reports

日時：2019年9月27日(金)～28日(土)
 場所：関西学院会館

海外、国内の支部長が一堂に会し、
 支部活動の活性化や母校支援への
 取り組みについて
 2日間にわたり熱い討議を行いました。



関西学院
 同窓会
世界支部長会

日時：2019年9月27日(金)～28日(土)
 場所：関西学院会館

海外26支部が参加して エリア別に懇談会

テーマ

- ① 支部活性化 新規会員の獲得の方法
- ② 留学生との交流の促進
- ③ 司会進行、〇は書記・発表
- 【1班】◎シカゴ、○S.F・シリコンバレー、シ
アトル、ニューヨーク、ロサンゼルス、トロント、
バンクーバー
- 【2班】◎台湾、○ハノイ、韓国、北京、上海、
広州、香港、サイゴン、バンコク、クアラルンプー
ル、シンガポール、インドネシア、マニラ
- 【3班】◎ドバイ、○英国、ドイツ、パリ、イ
スタンブール、デリー

各エリアでの課題や
取り組みを共有し、
次の一手に

事前のアンケート調査結果に基づき
意見交換を行いました。
支部の活性化の大きな課題のひとつ
に新規会員の獲得があります。近年の



SNS発達により広く呼び掛けることが可能になりました。一方で、特に1班と2班では新規会員は地元のフリーペーパーでの入会が多いという報告がありました。初めて赴任した場所では、まず紙ベースの情報が有効なようです。また日本人留学生については地域によつてバラツキがあるものの、各地で盛んに交流会が開かれるようになりました。海外で学ぶ関学生にとつて、現地で活躍する先輩方との交流は貴重な体験になっています。

海外生活の利便性に伴い、
日本人同士の付き合い方も変わってきた。

1班 シカゴ 樋口法紹 支部長

情報通信技術や国際物流の進歩に伴い、
海外生活の利便性は飛躍的に向上。日本人同士の付き合い方にも変化が現れています。懇談会では若年層の新規加入や行事への参加をいかに促すが共通の話題でした。同じ北米内でも留学生との交流にばらつきがあり、関学同窓会を活性化するため、それぞれのアイデアを紹介し意見交換を行うことができました。

母校への貢献として
インターシップを続けていきたい。

2班 台湾 河村裕之 支部長

直接情報・意見交換できたことは有意義でした。活性化の環として年代別の集まりを持っている支部が増えています。活

動に学生を招く際の費用も話題になり、参加数が多くなると留学生の自己負担も必要だとの意見も出ました。インターシップへの協力に関しては、各国で事情の違いはあるものの、母校への貢献として取り組みを続けたいという意見が多く出ました。

支部の集まりに参加するための
交通費の補助は有効な手段です。

3班 ドバイ 村上惣一 支部長

支部の活性化にはどの支部も苦勞をされているようです。地理的にも離れた中で、ドイツ支部では集まるための交通費補助をされている事は注目すべき点でした。ただ、ども支部長のリーダーシップが重要であると感じているようです。

趣向を凝らして
みんなで楽しく！
ゴルフ対抗戦、
野球観戦、BBQ、
ファミリー集めて
大クリスマスパーティー

【支部活動状況のいろいろ】

支部の規模によつてさまざまな活動が行われています。各地で最も盛んに行われているのがゴルフ対抗戦です。関関同立から始まり、早稲田、慶応、同志



バンクーバー支部とシアトル支部は、シアトルマリナーズ対LAエンジェルス試合観戦ツアーを行いました。



クアラルンプール支部では第15回マレーシアインカレゴルフが開催され、関学が初優勝！3つの連合チーム含む18校から、過去最大の154名の参加がありました。



ロサンゼルス支部で開催された第35回南加大学同窓会対抗ゴルフ大会。参加大学同窓会23校、参加者147名の大会となりました。

社との4大学対抗、果ては20校前後が相まみえての壮絶な戦いが繰り広げられているところもあります。優勝なら真つ先に校歌を歌って雄叫びを上げることもできます。

バンクーバー支部ではイチローがマリナーズにきた時からシアトル支部との交流を兼ねて野球観戦を始めました。また家族同伴のBBQ（バーベキューパーティー）も人気です。会場を確保するのが大変そうですが、本物の料理人がいらつしやる支部など、もう御馳走が一杯。あちこちで歓声が上がっています。

年末のクリスマスパーティーはご家族揃って楽しめる定番です。昨年の上海支部のクリスマスパーティーには何と90名を超える参加がありました。



上海支部2019年度クリスマスパーティのひとこま。花園飯店（ホテルオークラ）にはご家族含めて90名以上が集まりました。



ドバイ支部総会が、賞金総額35億円で世界一を誇る競馬ドバイワールドカップが行われる「ザ・メイダンホテル(5つ星)」で開催されました。

海外支部が行っている 留学生支援の数々

熱意ある取り組みが
留学生の輪をつなぐ

海外支部では、同窓生だけでなく関西学院大学から現地でも学ぶ留学生、そして関学留学を経て帰国した学生たちにも懇親の場を提供しています。懇親会にお呼びした時は、初めは緊張していた学生たちも、すぐに打ち解けて交流の輪が広がります。

上海支部では、海外留学生のみの同窓会を行い、留学生が集まりやすい環境を提供しています。

台湾支部でも同じように、関学留学から戻ってきた若手や女性メンバー、台湾に留学中の現役関学学生が参加する会を開催して若手が出入りできる支部活動を充実させています。さらに上ヶ原キャンパス・三田キャンパスからのゼミ旅行、調査研究、留学生募集も積極的に受け入れてきたことが、台湾を訪れる学生を増やし、交流も盛んになった要因です。

インドネシア支部でも数名のインドネシア人の留学生がいますが、食事を通して上下関係のないクラス会的な雰囲気に参加しやすいようです。ミラ支部の懇親会にもアテネオ大学からの交換

留学生が帰国後に参加しています。貴重な体験や知見は立派な財産

各地で関学からの語学留学生、インターン生などとの交流もあり、グローバルに活躍する学生が現地でネットワークを広げることができるよう支援しています。

ドイツ支部でも交換留学で来ている関学学生の参加が増え、昨年の秋に開催した交流会には15名（ドイツの大学に学ぶ学生以外にオランダ、ベルギー、そしてバルト三国のひとつラトビアから）の参加がありました。

「国際結婚されたり、永い欧州経験を持ち企業で活躍されている方などの貴重な体験や知見は立派な財産です。留学生の皆さんに広くお伝えしていくことは、舌足らずなSNSによる情報が充満する現代において、同窓会海外支部の重要な役割です」（ドイツ支部）。



SF・シリコンバレー支部のBBQには、関学提携校の地元2校に今夏から交換留学する関学生も参加。



上海支部の集まりに、5人の留学生が参加。同窓生が蘇州・杭州からも駆けつけ盛り上がりしました。



赴任直後のOBや転勤のOB、現役インターン生など21名が集まり、老若男女、世代を超えた懇親会が開かれたサイゴン支部。

当然ながら同窓生もドイツ各都市だけでなく、周辺諸国のベルギーやオーストリアからも参加する会になっています。近日中に、ベネルクス（ベルギー、オランダ、ルクセンブルグの3か国の総称）支部が誕生する予定ですが、新たな展開を期待したいと思います。

日本人留学生との交流は盛んですが、一方で海外から関西学院に学ぶ外国人留学生とは卒業後に連絡を取ることができない、という問題が毎回の議論になっていました。

そこで、同窓会本部と国際連携機構とが協力しながら、卒業後でも連絡の取れるメールアドレスを登録してもらう取り組みが始まりました。日本で就職する人、母国に帰国する人とさまざまなですが、将来的に活躍が予想される方々と連絡が取れるということは今後ますます重要になってくるはずですよ。

海外支部長と正規留学生 初めての「外国人留学生のための KG ネットワーク交流会」

外国人留学生との
交流で見える
本当に必要なサポート

以前より要望のあった海外支部長と正規留学生との交流・懇親会が初めて開催されました。韓国・北京・上海・広州・香港・台湾・インドネシア・クアラ Lumpur の 8 カ国の支部長が参加し、正規留学生たちと活発な意見交換が行われました。

エリア別にテーブルを囲んで行われた懇親会では、留学生から日本における外国人留学生の就職実態が報告され、日本で就職活動するにあたって必要な資格や日本企業が求めている留学生人材像について質疑が交わされるなど、参

加者にとっては情報収集の場となり、留学生同士も情報をシェアすることができた意義のあるひとときとなりました。

また、交流会を通して海外支部としては、質の高い国際プログラム（派遣・受入・融合）の拡充によって、よりグローバルな教育環境を実現することの必要性を実感するとともに、今後多くの留学生と意見交換を行う場として、交流会の意義を改めて確認することができた時間になりました。

海外支部長が 留学生との交流で感じた思い

専門性を高め、興味を深め、さらに英語力を磨くと活躍の場が広がる。

韓国 土山雄一郎 支部長

交流会の前の講演会では韓国人留学生だけでなく、中国人や台湾、インドネシア、マレーシアなどからも参加されており、韓国での就職活動事情、当社の拠点がある中国、インドネシア、マレーシアの情報、日本と海外での就職の違いを説明しました。日本での就職を考えている人が多い中で、海外での就職も選択肢として考えるきっかけになったのではないのでしょうか。



交流会で話をした韓国人留学生たちは、積極的に明るく、日本語能力も高く AI や IoT、デジタル関連に興味があるようでした。学生時代には各々の専門性や興味があることを勉強し、さらに活躍のフィールドを広げるためにも英語を勉強してほしいとお伝えしました。

優秀な留学生が多く、日本での就職を望む人がほとんど。

台湾 河村裕之 支部長

交流会で出会った留学生は優秀な学生ばかりで非常に頼もしく嬉しかったです。エリア別にテーブルを囲んでゆつくり話すことができ、よく勉強している様子が伝わってきました。一番話題となったのが就職のことでした。ほとんどの学生が日本での就職を考えていることに驚きました。大学としてもできるだけのサポートをしてほしいと思います。学生たちには、留学中に日本の色々なるころに行き、色々なるものを見てほしいと話しました。

OB 情報に支えられる KG ファミリーの外国人留学生



OB の就職経験情報が参考になりました。

法学部2年
ヒツ シン(中国)

目標は母国の弁護士資格を取得することです。長い歴史を持つ美しいキャンパス、自由な学習雰囲気、就職活動に対する支援制度が整備されたスパーグローバル大学であることから関学を選びました。今回の交流会では、OB からの就職に関する情報をいただけて有益でしたし、海外支部長と直接お話しができて大変意味のあるものとなりました。



先輩の話を参考にして日本企業に就職したいです。

経済学部2年
イチェリン(韓国)

関学を卒業して働いている韓国人や中国人の先輩から話を聞くことができたので、とても参考になりました。卒業後は日本の企業に就職したいと思っていますので、そのために学生時代やっておくべきことなどのアドバイスをいただきました。他の人よりこれだけは上手にできると言えることを探して、将来は起業したいと思っています。



交流会で母国の学生と情報をシェアしました。

商学部1年
リフクテイ(台湾)

関西学院大学を選んだ一番の理由は学校全体の雰囲気です。西洋風の建物と緑の芝生がとても素敵で、この学校で大学生活を過ごしたいと思いました。懇親会では、母国の留学生同士でさまざまな情報をシェアすることができ、楽しい時間を過ごしました。将来、日本の商社でマーケティングに関する仕事をしたいと考えています。



マレーシアからの留学生を増やすには
提携大学の幅を広げるべき。

クアラルンプール 芝池洋一 支部長

交流会では、韓国留学生の参加が非常に多く驚きました。マレーシアからはマラヤ大学の学生が参加していて、色々な話ができました。その学生から提携先がマラヤ大学と Tenku Jajar 大学の理由を聞かれ、中国系の多く Taylor や Sunway、Monash と提携するとマレーシア人が増えるのではと提案をされ、私も同様に感じています。現地の声を参考にさせていただくと状況も変化するのではなからうでしょうか。

その留学生は、将来は母国に戻って日本語ができる優位性を活かした職につきたいと考えているようでしたので、戻ってきた時には就職斡旋のお手伝いをしたいとお伝えしました。

留学生の目的意識の高さを認識し、
異文化交流を行う機会となった。

広州 古川博幸 支部長

留学生の目的意識や学習意欲の高さを感じた交流会でした。関学に憧れている人よりも何を学べるかで関学を選択している人



が多く、海外での「大学名」の知名度はまだまだのように思います。私が中国に住んで体験したこと、感じたことを話題にした時に盛り上がったことから、自分の国がどう見られているのかに興味があるように思います。また、日本に住んで彼らから、中国との違いについても話を聞き、異文化交流になりました。

来春卒業後、広州に就職するという学生とは、支部へのコンタクトをお願いして連絡先を交換しました。

卒業後も同窓会、母校とつながり
人脈作りや心のオアシスとして活用を。

香港 張振副支部長

留学生と交流が持てるのはとてもいいことですが、低学年が多く、同窓会への関心があまり高くなかったのが残念でした。また、留学生は日本での就職を希望していたので、次回は関東や関西の国内支部からOBの参加があると彼らのためになるのではないかと思います。

交流会では、就職や海外支部がやっていることなどが話題になりましたが、卒業後はそれぞれの地域にある同窓会で、母校とのつながりを持ち、人脈を築いてほしいと思います。なかなか順風満帆とはいかない社会人生活にとって、同窓会が心のオアシスになることも期待しています。

留学生たちの将来は、
世界を舞台に広がっていることを実感。

上海 岡泰志 支部長

交流会では、中国と韓国からの留学生8名くらいのチームでした。話題は彼らの進路

について、日本企業に就職して世界を舞台に活躍を望む学生が大半で、「彼らのステータジは世界なんだな」と改めて思いました。

私が支部長を務める上海の話題では、いかに日本企業やKGの出身者が多いか、上海KG会（同窓会）がどんな活動をしているのかを興味深く聞いてくれました。また、インターシップや海外留学、さらに社会貢献に関わりを持つことが当たり前の時代になっていることに驚かされる時間でした。最後に、上海での再会を約束して散会となりました。

日本とインドネシアの
友好の二つの糸に。

インドネシア 小林真悟 支部長

インドネシアからの留学生に会いましたが、当地（インドネシア）で会う中でも教育及び知的レベルの高い生徒であったと感じました。我々が教えてもらうことも多いでしょうし、関西学院を超えて、将来日本とインドネシアの友好の二つの糸になってくれればとても嬉しく思います。

具体的には、インドネシアにおける日本人の仕事や動向、留学生の今後の進路（日本で働く、インドネシアで働く、他国でさらにグローバルな経験を積む等）を話しました。たまたま当該留学生の実家が経営するカフェが当方住居の近くにあり、その話でも盛り上がりがありました。

今後も留学生には、良い経験と思い出を増やしてもらい、友人や後進が引き続き関西学院の門をくぐることを期待します。数回の実績であり、影響力であります。継続してインドネシアからの留学生がたくさん上ヶ原へ通うことを楽しみにしています。

大学院に進んだ先輩との
ネットワークも作りたい。

国際学部3年
ムハンマド アミン(マレーシア)



知名度もあり、国際化されている上、国際学部の英語コースでも日本語の授業に挑戦できる制度に魅力を感じて入学しました。将来は言語学の研究者を目指して、新たな理論や教授法を発見しながら言語学についての本を出版したいです。そのため、大学院を目指しているの、大学院に進学したOB・OGともネットワークができるとよりいいなと思います。

海外支部長や留学生から
多くの情報を得ました。

国際学部3年
スンジャヤ マリア クラウディア(インドネシア)



日本を含めてアジアや欧米に関する授業が多く、留学生の待遇が良いと聞き、関西学院大学の国際学部を選びました。交流会では多くの海外支部長からアドバイスもいただきました。特に母国の支部長とお話しができて嬉しかったです。また、他の留学生からもたくさん情報を得ることができました。将来は自分が学んだことを社会に活かす仕事をしたいです。

先輩の経験談は
将来を考えるヒントです。

総合政策学部2年
リュウ ヤーワツ(香港)



総合政策学部で総合的な知識を学び、問題提起や解決策の考え方を身に付けたいと考え、関学を選びました。将来は日本で就職するか、自国で社会のために自分ができることをやりたいと考えています。交流会では先輩たちの仕事の話が勉強になりました。留学生たちの体験も聞くことができたのは貴重です。先輩の経験を参考に、自分の将来に役立てたいと思います。

国内64支部による 規模別懇談会

テーマ

- ① 同じ程度の規模だからわかる悩みや課題
 - ② 課題に対する各支部の対応
 - ③ 成果や効果のあったベスト3
- 【1班】 総会出席100名以上の8支部
 【2班】 総会出席30～100名未満の33支部
 【3班】 総会出席30名未満の23支部

問題点の共有と 新たな解決策

過去には地域別に懇談会を開催したことがありましたが、今回初めての試みとして規模別に分けた懇談会を企画しました。これまでの共通した課題に若手同窓生の参加およびリピート率の悪さ、支部全体の高齢化と合わせて後継者難の問題点が指摘される傾向にありました。



大きい支部なりの悩みあり。
ありがたい職域・団体の協力。

1班名古屋 葛谷美紀子 支部長

規模が大きいが故に役員が多すぎて意思の疎通が図りづらいことや、同窓生の把握が難しいですね。集客の一つの工夫として、若手に懇談会の企画を任せ、若い人たちの参加意欲を高めたり、職域や団体の協力の呼び掛けや学生時代のクラブやサークル活動の情報開示が先輩後輩をつなげ、以降誘い合つての参加が増えたという報告がありました。

就労年齢の高齢化。

「平成会」に活路を見いだす。

2班 明石 石井嘉門 支部長

若年層の会費の優遇だけでなく、多くの支部で平成卒の年代を束ねる「平成会」や「女子会」「留学生の招待」「コンサートイベントの開催」などで結束力を深めているという報告がありました。また隣接する支部が合同で支部総会を開催してスケールメリットを生かした活性化の起点が生まれています。

人の出入りが激しい遠隔地支部。
保護者参加型の支部あり。

3班 栃木県 中島逸男 支部長

該当する支部のほとんどが遠隔地にある支部です。そして、共通点として転勤・異動により定着率が低いことですね。一方で遠隔地だからこそ、現役生の保護者をお呼びして母校を知ってもらう機会を設けている支部が意外に多かったことが分かりました。

規模別懇親会の成果を 報告会で発表

「モノ」から「コト」で
注目を集める支部活動

世の中のニーズが「モノ消費」から「コト消費」に変化していると言われている。「モノ」の豊かさという所有欲を満たすことから経験や体験、思い出、人間関係、サービスなどの見えない価値である「コト」に移行しています。

その中でも特に宝塚支部の社会貢献活動「スカイレンジャー」は、関西学院賞を受賞した注目の活動です。他にも徳島支部では支部総会を阿波踊りの時期に変更したところ、地元をはなれた卒業生が友人達を連れて帰省しやすい雰囲気が人気となりました。年々参加者が増加しており、記憶に残る取り組みとして支部に活気を与えています。また、若手を集めるための平成会、女性の輪を広げるためのワイン会やハイキングなど各支部の課題に対して工夫を凝らした取り組みが発表されました。



芦屋支部は国際学部卒のメンバーらと「AFRICA DAY 2019」を開催。イベントの収益は「ウガンダに学校を作ろう」プロジェクトに寄付しました。



神奈川支部では「KG神奈川ゆるる登山の会」で低山ハイクを楽しんでいます。



2008年に宝塚支部有志メンバーでスタートした「スカイレンジャー」活動。毎朝、初等部児童の登校を通路で見守り続けてきました。



阿波踊りに合わせた支部総会は参加しやすい活動で喜ばれています。関学連では踊りのレッスンもあるので、初心者にも人気です。

支部会が 受け継ぎ伝える、 誇り高き KGスピリット



集合写真：国内、海外の支部長が一堂に会する世界支部長会。

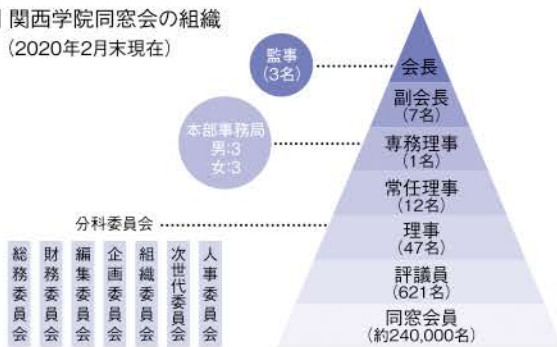
24万人のKGファミリー 活躍を応援し合う 関西学院同窓会

関西学院同窓会は本部以外に国内90支部、海外28支部の地域支部と130の公認団体から成り、24万人を超える会員で構成されています。スクーレルモントーの "Mastery for Service" の理念でつながり、世代を超えた交流や親睦を通してKGファミリーとしての活躍をお互いに応援し、母校の発展を物心両面からサポートしています。

同窓会組織は、会長を頂点に副会長、専務理事、常任理事、理事、評議員からなり、理事はそれぞれ10名前後の7つの分科委員会に分かれ、同窓会活動に関する課題や校友のニーズの実現に取り組んでいます。

年に一度の同窓会総会は、世代を超えて仲間が集えるようにとホームカミングデーと併せて、今年は10月に開催する予定です。毎年多くの同窓が母校のキャンパスに集まります。どうぞ皆様もご家族、ご友人を誘ってお越しください。また、各支部総会・懇親会では地域の同窓と絆を深める機会を大切にし、他地域との連携の輪を広げています。関西学院同窓会は様々な活動、サービス、世界へ広がるネットワークによってKGスピリットを継承しています。

■ 関西学院同窓会の組織 (2020年2月末現在)



■ 各分科委員会の紹介と活動

関西学院同窓会では理事会のもとに、7つの分科委員会を設けています。

- 総務委員会** 規程の立案・作成、各種文書起案・他
- 財務委員会** 財務に関する計画・立案・執行・財産管理
- 編集委員会** 母校通信・その他機関誌の編集・発行
- 企画委員会** 同窓会活動の健全な発展に寄与するための各種企画の立案
- 組織委員会** 支部組織等拡大・充実・組織強化に関する事業
- 次世代委員会** 若年層を対象としたネットワークづくりや各種企画の立案
- 人事委員会** 同窓会評議員及び同窓会理事、同窓会役員の選任のための推薦を委ねる選考委員の選任

各支部の熱意ある活動が、
関学のブランド力を上げ、
母校支援となっています。



同窓会会長 西名 弘明

関西学院同窓会が開催する世界支部長会議にお集りいただきありがとうございます。二日間にわたって開催した今回は海外支部28支部のうち26支部、国内90支部のうち76支部がご参加いただき、各支部の活動報告とともに課題についても多くの意見交換が行われました。また、それと同時に同窓生の皆様が熱意をもって同窓会活動に携わっていただいていることが伝わってまいりました。同窓会への要望、学校への期待、若手や女性の参加向上に向けての取り組みなど様々な意見を頂戴いたしましたので、同窓会本部といたしましては、できるだけ早い時期に実行するのが役割だと考えています。

現在、日本国内のみならず、海外で活躍する同窓生が増えてきております。同窓会支部の皆様のお借りしてブランド力を上げ、より大きな母校支援の活動へとつなげていきたいと考えておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

オール関西学院フェスタ

本部が地域の支部と協同で開催するビッグイベント

2016年からスタートしたこの事業は、昨までの3年間に6か所で開催しました。これは、支部単独ではできない規模のイベントを地域の支部と本部が一緒になって作り上げていきます。このフェスタを通して関西学院のブランド力をあげ、改めて関学ファミリーであることを実感できる楽しい企画です。現役のグリーククラブの演奏や応援団総指導部・チャリダー部による演舞は参加者の心を掴んで放しません。校歌の合唱は世代を超えて関西学院の絆を感じ、同窓の力の源泉となっています。なお、3月20日(金・祝)に予定していた、島根県松江市での山陰フェスタは、新型コロナウイルスの影響により中止いたします。



2019年3月10日(日)
オール関西学院フェスタ北関東in宇都宮/独協医科大学関湊記念ホール



2017年10月28日(土)
オール関西学院フェスタ四国in高松/高松国際ホテル

◆オール関西学院フェスタの開催記録

- | | |
|--|-------------------------------------|
| 2016.05.07 福岡/ホテルオークラ福岡 | 2017.10.28 高松/高松国際ホテル |
| 2016.12.17 名古屋/名古屋中央教会・名古屋東急ホテル | 2018.12.15 広島/リーガロイヤルホテル広島 |
| 2017.07.30 金沢/石川県立音楽堂交流ホール・ANAクラウンプラザホテル金沢 | 2019.03.10 栃木/独協医科大学関湊記念ホール・学内レストラン |

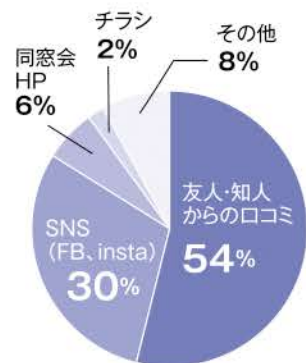
若手同窓の集い KG Youth Reunion Party

次世代若手対象の交流イベント

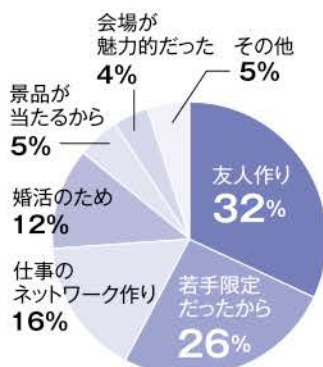
35歳までを対象にした交流イベントを大阪で3年前から開催したところ、大反響となり昨年は東京、名古屋、福岡でも実施しています。延べ600名が参加しており、新たな友人だけでなくビジネスのネットワークを作りたいという人や、パートナーを求めてやってくる人ともさまざまです。また大きな要因の一つに若手限定だからという理由をあげています。

なお本部では同世代のネットワーク化を図りながら同窓会への関心・参加意識を高めようと、新たなセグメント(起業家・経営者・事業後継者)の組織化と支援を図ることになりました。この新たな取り組みに期待が高まっています。

■イベントを知ったきっかけ



■参加しようと思った理由



2019 OSAKA



2017 FUKUOKA



2019 TOKYO



2019 TOKAI

子育てセミナー

ファミリー層応援イベント

同窓会は、子育て世代も応援しています。初めての出産で不安、子育ての悩みを聞いてほしい、子どもの褒め方と叱り方がわからないなど誰もが持つ子育ての悩みを共有できる場です。お子さんの年齢ごとに開催されているセミナーは、わかりやすく実践しやすいのが魅力です。ベビーシッターさんもいて、参加しやすい環境が用意されています。

次回のセミナー内容は、下記をご参照ください。



セミナー開催のご案内

参加無料

昨年11月に武田建先生（関学大名誉教授・元学長・関西学院元理事長・アメリカンフットボール部元監督）、山田裕子先生（LLC みらい代表子育て支援アドバイザー）と薄井修司先生（親学アドバイザー）によるセミナーを開催し、延べ50名を超える子育て世代の皆さんが受講されました。6年前の秋から開催した子育てシリーズも、回を重ねるごとに参加者も増え、今春も引き続き開催します。子育てママさんだけでなく、パパの参加もちろんOKです。



対象：妊娠中～新生児	妊娠中から始める子育てセミナー ～愛着の絆を結び、脳を育てる方法～
日時 5月15日(金)10時～11時30分 締切日:5月8日(金)	講師 山田 裕子 先生 LLCみらい代表 子育て支援アドバイザー 関学大社会学部修士課程修了 脳科学の進歩から安定した愛着と脳の健全な発達の関係が分かってきました。親子の愛着の絆づくりは、妊娠中から始まり乳児期に形成されます。絆の上手な結び方を具体的にお伝えします。 ●ベビーシッターあり
会場 西宮上ヶ原キャンパス 関西学院会館1階「翼の間」	
対象：4～10歳	ほめて伸ばす子育てのコツ
日時 4月21日(火)・28日(火) 2週連続 10時～11時30分 締切日:4月14日(火)	講師 武田 建 先生 関学大名誉教授・元理事長・学長 子供のいい行動を増やして、困った行動を減らすにはどうしたらいいのか？ “ほめて伸ばす”方法についてお伝えします。 ●ベビーシッターあり
会場 西宮上ヶ原キャンパス 関西学院会館1階「翼の間」	
対象：小学校高学年～中学生	ほめて育てる子どもの立志 ～賢いほめ方と叱り方～
日時 5月8日(金)10時～12時 締切日:5月1日(金)	講師 薄井 修司 先生 (株)ウエルネスサプライ代表取締役、日本ほめる達人協会認定講師、 立志ネットワーク「志授業、親学アドバイザー、真おやじ塾塾長 関学大文学部卒」 厳しい時代に向かってこれからの社会で生き抜くために家庭でできる、出来る子供の自立心を育てる“立志教育”について ～今からでも遅くない、親次第で子供は180度変わる～
会場 西宮上ヶ原キャンパス 関西学院会館1階「翼の間」	

【セミナーへのお申込・お問い合わせは同窓会本部まで】
電話番号:0798-51-3604 / 受付時間:平日 9:00～17:00 / E-Mail:dousokai@kwangaku.net